

GHてつなぎ荘事業 平成25年度事業報告

1. 利用状況

* 入居定員及び入居人数

てつなぎ荘 定員7名 現在7名入居中

てつなぎ抱夢 定員5名 現在5名入居中

共生型ほんわかホーム 定員5名 現在5名入居中

* 短期入所事業

てつなぎ荘 定員1名 随時利用

公的利用(支給決定のある方)

1食 300円のみ他の支出無し

私的利用(支給決定の無い方)

1泊 2000円 空床利用にて荘及びほんわかで対応

1食 300円にて提供

* 一時預かり事業

ほんわかホーム及びサポートセンターにて利用

1時間 200円 食事@1食300円

2. サービス体制

ほんわかホーム 担当職員 6名

てつなぎ荘 担当職員 1名 応援職員 4名

食事(世話人) 3名

担当及び応援職員にて、早出・遅出・日勤・宿直・夜勤を交代で行う

3. 重点目標結果

①

収益性の向上を目指す、自動販売機の設置や利用日の拡大にて利用料を含めた収益の増加を目指していく

結果:

定員増による利用料の増加については、現在満床でありこれ以上は増えない。

自動販売機を検討したが販売利用予測、設置工事費(場所選定他)

検討不足のため実施にいたっていない。

また収益性の向上のため経費削減を模索した、職員ミーティングにて周知徹底をはかり『無駄の見直し』を意識させたため幾らかの削減が達成できた。

②

サービスの質の向上

結果:

月1回の定例ミーティングを開催し情報共有に努めてきたが、反応が薄く成果が得られなかった。

しかしながら、ミーティング後に勉強会を取り入れ虐待防止などについて制度理解や対応について学ぶことが出来たため職員の底上げが強化され働く意識の向上につながった。 今後は情報共有や相互連携など更なる『質の向上』を目指していく方向がみえた。

③ 提供サービスの充実

結果: 余暇支援の一環として、休日活用にてドライブや買い物外出を行う

最低でも月に1回、開催することが出来たが、参加利用者が固定されており、休養を希望された場合の対応や回数の増加など検討課題が見えてきた。また冬期間の外出は天候や体調に左右されなかなか実施出来なかった。

今後の課題とし多くの改良点が見出せたので、それを検証し来年度に反映させていく。

提案として、花見や親睦会などを催して、家族や地域自治会との交流連携をはかる。

利用者向けビアガーデンの開催や花火大会、全グループホーム参加型イベントなど検討してき更なる向上を目指す。